

## 2021年 日本手術看護学会北海道地区

### セミナーⅢ 「新人教育」(札幌開催) 報告

12月11日(土)WEBにてセミナーⅢ「新人教育」を開催し、全道各地から21名の参加がありました。

北海道大学病院 手術看護認定看護師 鷲見亜紀子先生からは、「新人手術室看護師の現状」をテーマに看護基礎教育から卒後教育まで、また新人看護師の特徴などを講演いただきました。カリキュラムの改訂により実習時間が減少し、手術室は数時間の見学しかない中で、新人看護師を理解しどのように支援するとよいのかを理解することができました。

次にKKR札幌医療センター 手術看護認定看護師 児玉美樹先生からは、「周術期看護」をテーマに手術室と病棟の連携、手術室看護師のクリニカルラダーやその運用を講演いただきました。実際に病棟に移られた経験から、手術室看護師と病棟看護師の実践している看護の理解が大切であること、経験学習が進むように良い振り返りが重要であることを学ぶことができました。

最後にお二人から「施設での新人教育の現状」をお話いただき、全体討論を行いました。

セミナー参加者からは、「新人看護師に対して細かい指導指針が必要であること、今回の内容はとても興味深いものでした。さらに、各施設での取り組みや悩みを共有できてよかった。」などの意見がありました。質疑応答に関しては、「事前に質問を募って回答する形式だと質問しやすかったかもしれません。」という意見もありました。

今年度から新たに企画した「新人教育」でしたが、新人指導担当者のみならず手術室看護師皆様に聞いていただきたいような素晴らしい講演で、盛況に終わることができました。日本手術看護学会北海道地区では、今後もより多くの皆様に興味を持っていただけるようなセミナー企画を考案中です。WEBでは広大な北海道各地の皆様とつながり開催することができます。また、今後は感染防止対策を取ったうえで実技・演習の機会も再開したいと考えております。皆様の参加を役員一同、心よりお待ちしております。